

令和5年度 年間授業計画

東京都立立川高等学校定時制

教科・科目	理科・生物基礎	3単位	対象学年・組	4年選択理科
教科書	高等学校改訂新生物基礎(第一学習社)	教科担任	藤森	

1. 目標 生物学の概念や原理・法則を理解し、科学的に考える力、表現する力を養う。
2. 学習の到達目標 生物学に関する知識を習得する。

得られた知識や経験をもとに科学的に考え、表現し、課題を解決する。

3. 学習内容と学習上の留意点

	予定授業時数	学 習 内 容	学 習 上 の 留 意 点
1 学 期	36 時間	生体物質と細胞 細胞膜の働きとタンパク質 さまざまなタンパク質の働き 遺伝情報とその発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー * 期末考査	教科書・プリントを忘れない。 黒板に書かれたことや説明されたことを、プリントにきちんと書き込む。 自分で、あるいは人と協力して、課題に取り組む。 わからないことはそのままにせず、調べたり質問したりして解決する。
2 学 期	39 時間	有性生殖における遺伝的多様性 動物の配偶子形成 動物の発生 動物の発生における形態形成のしくみ 植物の発生 * 中間考査 * 期末考査	教科書・プリントを忘れない。 黒板に書かれたことや説明されたことを、プリントにきちんと書き込む。 自分で、あるいは人と協力して、課題に取り組む。 わからないことはそのままにせず、調べたり質問したりして解決する。
3 学 期	30 時間	個体群と生物群集 生態系の物質生産 生態系と生物多様性 進化のしくみ 生物の起源と生物の変遷 * 期末考査	教科書・プリントを忘れない。 黒板に書かれたことや説明されたことを、プリントにきちんと書き込む。 自分で、あるいは人と協力して、課題に取り組む。 わからないことはそのままにせず、調べたり質問したりして解決する。

4. 学習者への注意

- 遅刻・欠席をしない。
- 毎時間プリントにきちんと取り組む。
- 授業に積極的に参加する。

5. 評価の観点・方法

定期考査での得点・自宅学習課題・プリント提出による平常点・授業態度等を総合的に評価する。